

平成24年度アクションプランにおける府省連携の事例 復興・再生並びに災害からの安全性向上

(科学技術イノベーション政策推進専門調査会(第1回、平成24年3月21日)資料4別添より)

発生した津波の情報のより迅速、正確な把握

地震規模をこれまで以上に精度よく推定する手法を開発するとともに、沖合で実際に観測された津波データを用い、津波が沿岸に到達する前により高精度の津波予測・浸水地区予測を行う手法を開発。さらに、新たな海底地震・津波観測網を東北地方太平洋沖の日本海溝沿い及び南海トラフ沿いに設置し、地震・津波の早期検知に資するとともに、海域で実際に観測された津波に関するデータを用い、発生した津波に関するさらなる詳細な情報(津波波高、波長、進行方向等)を把握し、住民へのより迅速な情報伝達を行うためのシステムの研究開発を実施。

【津波予測情報の高度化と 津波防災体制の強化】

国
交
省

- 巨大地震においても地震規模を精度よく推定する手法を開発し、また、沖合で観測する津波データを用いて高精度の津波予測を行う

【6百万円及び海岸事業費の内数】

既存の予測技術の提供



新たな「緊急津波速報
(仮称)」の技術の提供

【「緊急津波速報(仮称)」の実現 に向けた観測・研究開発】

文
科
省

- 日本海溝・南海トラフ沿いに稠密なリアルタイム地震計・水圧計による観測網を設置
- 津波に関する詳細な情報を把握し、住民への迅速な情報伝達を行うためのシステムの研究開発を行う

【19,034百万円】

※【 】内の額は平成24年度予算額。
以下の府省連携において同じ。